

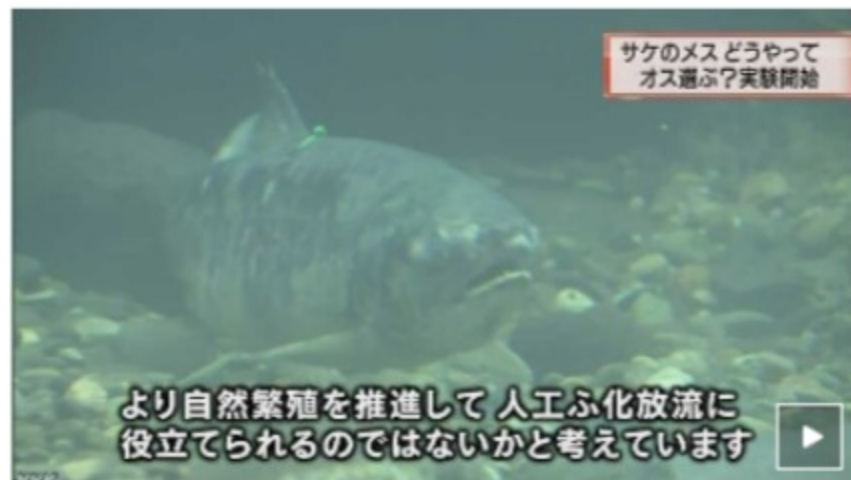


## ニュース詳細

## 新着ニュース

## サケの繁殖 実験スタート

11月22日 21時36分

サケのメス どうやって  
オスを選ぶ？実験開始より自然繁殖を推進して 人工ふ化放流に  
役立てられるのではないかと考えています

サケのメスがどのように繁殖相手のオスを選ぶのかや、どのようなオスが多くの子孫を残せるのかを調べる実験が、道東の中標津町で始まりました。

この実験は、日本大学と標津町の標津サーモン科学館が共同で行い、中標津町にある民間の養殖場では、メンバーがオスとメス、あわせて12匹のサケの背中に、長さ10センチほどの筒状の計測器を取り付けました。

これまでの研究で、オスがうまく繁殖できるかは、あごの形の鋭さや背中の盛り上がり方、それに婚姻色と呼ばれる体の色などがポイントとされてきましたが、研究チームは、メスが何らかの方法で、自分とは異なる遺伝子のオスを選んでいるとみて、実験を通して、遺伝子の違いが繁殖のポイントになっているのかや、どのようなオスが多くの子孫を残せるのかを明らかにしたいとしています。

日本大学の牧口祐也助教は「繁殖相手を決める基準を解明して、サケを安定的に増殖させる方法の開発に

つなげたい」と話しています。

シェアする ?